

2007年8月31日

## PVP 設備の増強について

株式会社日本触媒

日本触媒は、機能性水溶性ポリマーであるポリビニルピロリドン（PVP）の能力を増強するために、新しいPVPの生産拠点として当社グループ会社である日本蒸溜工業（株）（千葉県市川市）に年産500トン設備を新設した。

当社は、新規に開発した気相脱水反応用触媒を用い連続生産される高純度N-ビニル-2-ピロリドン（NVP）とそのホモポリマーであるPVPを2002年に本格事業化して以来、アジア地域を中心に、順調にNVP・PVP事業を拡大してきた。

PVPは水や有機溶剤への溶解性が良好な上、樹脂との相溶性、高い吸湿性、成膜性、接着性、分散性などの特徴を活かし、粘・接着剤などの工業用途、ヘアケア製品などの化粧品用途の他、食品・医療用途などの原料として広範な産業分野で利用されている非常に有用なポリマーであり、需要拡大が期待されている。

当社は、独自の触媒で生産される高純度NVPを原料にPVPを生産しており、生産されるPVPは、高品質で不純物が少なく、低臭気、無着色、貯蔵安定性に優れるなどの特徴を有しているため、現在、主に工業用途にビジネス展開しているが、今後、より高品質が求められる付加価値の高い用途分野へ本格展開する。

2007年8月に当社グループ会社である日本蒸溜工業（株）に新設したPVP生産設備は、化粧品、食品、医療向け等の高品質が要求される品質管理が可能であり、今後、こうした付加価値の高い用途向けPVPの製造・販売を推進する。

当社は、今回のPVPの設備能力増強で、アジアにおけるNVP・PVPメーカーとしての地位を確固たるものとしていくと共に、PVP誘導体の開発、市場展開も視野に、需要の一層の拡大を図ることにより、今年度のNVP・PVP販売目標約20億円を2010年度には倍増の事業規模に育てる計画である。

以上

本件に関する問い合わせ先

株式会社 日本触媒 広報グループ

電話 03-3506-7477